

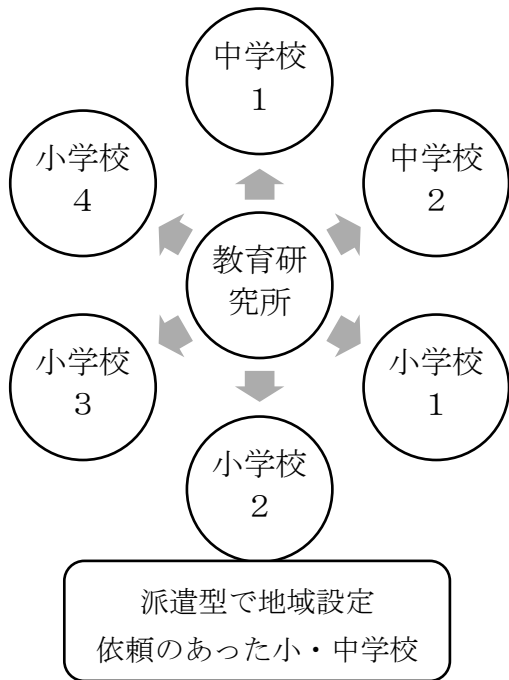
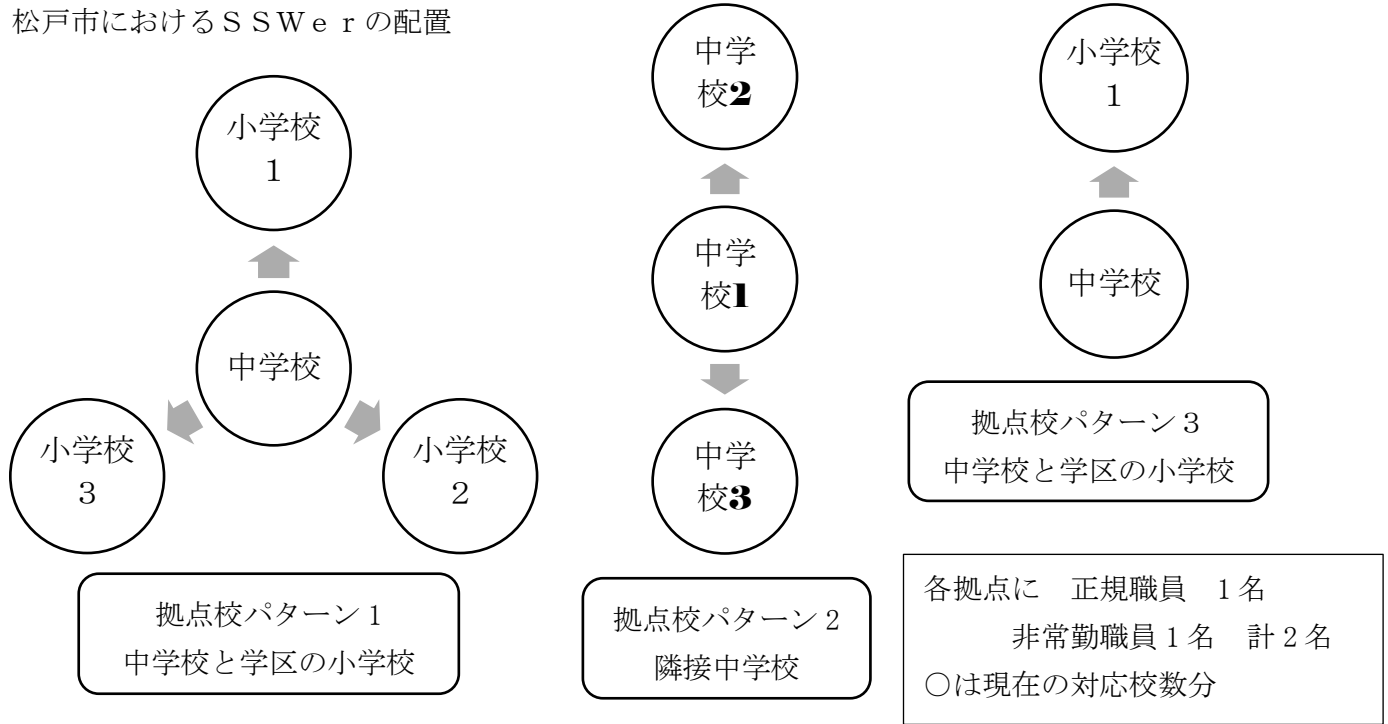
子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

「地域共生社会に向けた児童生徒・保護者の相談・居場所づくり」

現状 いじめ、不登校等の問題は、原因が複雑化多様化している

目的 S S W e rの配置事業により、児童生徒の家庭環境や学習環境を整えることにより、長欠・不登校の未然防止や改善を進め、社会を創造し社会づくりを担う人材育成の一端を担う。

松戸市におけるS S W e rの配置



活動実績	実人数	延べ活動件数
H29年度	80名	1330件
H30年度	235名	3490件

これまでの対応

教員：目の前の児童生徒をいろいろな観点から考える

→学習状況、学校生活状況、人間関係の状況を観察。児童生徒の内面（気持ちや考え）や児童生徒の個性、保護者からの情報を総合して児童生徒への指導や保護者への協力を求めて改善を図る。

これからは、教師とともに対応

SSWer：児童生徒を取り巻く環境をいろいろな観点から考える

→児童生徒と周りの人との関係や関わっている人の状況、児童生徒の生活状況、家庭環境などの関係性から福祉的なアプローチからの支援を考え改善を図る。

成果・福祉的アプローチを重ねることで、各家庭・児童生徒の困り感から相談を重ね、様々な福祉的支援につながられたことにより、福祉との連携が広がった。

課題・人材の確保。優秀な方に他から来ていただくだけでなく、松戸で経験を積んで育成していくこと。

- ・研修の確保。大阪府立大学山野則子教授の効果的なスクールソーシャルワーク事業プログラムを活用する等、各SSWerが一定の支援ができる技量を高める。
- ・全市的にSSWerからの支援を受けられる体制づくり。